



大学院 Newsletter No.30 2024.1

致道ライブラリーの紹介と大学院生の活用法をご紹介します！



致道ライブラリー

致道ライブラリーは、鶴岡市、慶應義塾、東北公益文科大学の三者が連携し、共同運営する図書館です。生命科学を中心とした自然科学系の資料、公益学に関する人文・社会科学系の資料を所蔵しています。(致道ライブラリーHP より)

鶴岡市立図書館と致道ライブラリーについて教えてください

【致道ライブラリー職員】

鶴岡市立図書館は公立の社会教育施設として、児童図書を含め、様々な世代を対象とした、多様な主題を扱う資料が揃っています。一方、致道ライブラリーは、鶴岡市、慶應義塾、公益大の三者で共同運営している図書館で、主に慶應義塾大学先端生命科学研究所に関わる生命科学、公益大の公益学に関する専門的な資料(公益大の修士論文を含む)を中心としています。借りられる図鑑も多く所蔵しており、小学生の自由研究にも使えます。用途に合わせて、2つの図書館をご利用ください。

致道ライブラリーをどのように活用していますか？(公益大の大学院生編)

【修士課程1年 先崎 大裕 さん】

私自身の研究内容に関する本や、講義のレポート課題をするために本を借りるなどで利用しています。また、公益大の学生は慶應義塾の首都圏3キャンパスに所蔵されている図書を無料で借りることができます。地域の大学院で学んでも致道ライブラリーを通じて最先端の研究に触れることができることは、研究を進めるうえでとても助かっています。

鶴岡タウンキャンパスの景色が好きで、研究室にずっと居るよりも、百けん堀の前で借りた本などを読むことで気分転換になっています。



致道ライブラリーをどのように活用していますか？(地域の方編)

【鶴岡市在住 60代男性】

元々、仕事に関連する図書、自分の興味がある図書を借りる機会があり利用していました。定年退職し、まとまった時間が増えた分、本を借りることはもちろんですが、施設内で読む機会も増えました。私は、社会科学系の分野に興味があり、深く知りたいという思いから、専門性の高い図書を多く取り扱っている致道ライブラリーを利用しています。深く知ることで近接する分野に新たな興味がわいた時にも便利です。致道ライブラリーには、鶴岡市立図書館とは重複しない専門的な図書が多く、地域に住んでいる立場としては大変刺激になる体験ができています。また空間としての居心地の良さも感じており、今後もずっと利用していきたいです。

2024年度(令和6年度)の春学期入学者(修士課程、博士後期課程)を募集しています

●出願受付期間:2023年12月1日(金)~2024年2月2日(金)

詳細は「東北公益文科大学大学院 入学者選抜試験要項」に掲載しています。試験要項の請求は、下記までご連絡ください。

東北公益文科大学 大学院事務室(鶴岡キャンパス)

・住所 〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町14番1号

・電話 0235-29-0555

・メール gs@koeki-u.ac.jp

・ホームページ <https://www.koeki-u.ac.jp/academics/gs/>